

会議録（要旨）

(1) 会議の名称	令和2年度第4回南越清掃組合廃棄物減量等推進審議会
(2) 開催日時	令和3年3月26日（金曜日）午後2時～午後2時50分
(3) 開催場所	南越清掃組合 エコクリーンセンター南越 大会議室
(4) 出席者氏名	奥村充司会長、佐藤秀雄副会長、岡山秀昭委員、辻本悦男委員、佐藤かよ子、上木由紀江委員、橋本英一委員、山岸浩委員、三田村憲男委員、坂川勝彦委員、中村勝典委員、有馬幸代委員（代理）
(5) 欠席者氏名	西野憲央委員
(6) 事務局職員職氏名	南越清掃組合 川崎管理事務所長、中村第1清掃課長、見延第2清掃課長、山田建設室長、大友第1清掃課移転業務室長、渡辺第2清掃課副課長、大久保主査
(7) 会議議題	協議事項 （1）令和3年度ごみ処理実施計画について その他
(8) 傍聴者の数	0人
(9) 会議資料の名称	資料1 令和3年度ごみ処理実施計画について 資料2 ごみの出し方変更によるごみ量推移.
(10) 会議の内容の要旨	<p>1 開会</p> <p>2 所長あいさつ</p> <p>3 協議事項</p> <p>（1）令和3年度ごみ処理実施計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質問 リサイクル率のみなしリサイクル率は何か。 ・回答 令和2年12月末まで第2清掃センターで受入れした燃やせるごみのうち、廃プラスチックについては業者に委託し固形燃料としてリサイクルをおこなっていました。令和3年1月からは、この廃プラスチックについては、エコクリーンセンター南越で焼却処分を行い、排熱により発電することで、サーマルリサイクルとして二酸化炭素の削減等に貢献しております。このサーマルリサイクル分を含めたリサイクル率を、みなしリサイクル率として表しています。 ・質問 ホースやカーペットはどのようにごみとして出せばいいのか。 ・回答 粗大ごみの日に、ホースは長さ1m程度に切って燃やせないごみと

して出してください。カーペットは切らずに出せます。

・質問

サーマルリサイクルの分を含めたのがみなしリサイクル率ということでもいいか。分かりやすくサーマルリサイクル分も記載した方がいいのではないか。

・回答

サーマルリサイクルの分を含めたのがみなしリサイクル率として記載しており、サーマルリサイクル分も記載するようにします。

・質問

プラごみは洗って出すよう言っているが、汚れが付着し洗浄が困難なものは燃やせるごみに出すよう言っており、燃やせないごみに出すのではなく燃やせるごみで出すよう徹底するべきではないか。

・回答

周知については、引き続き構成市町と協議し、進めてまいります。

・質問

住民リーダー育成について、年1回は説明会をするようにしてはどうか。町内のふれあいサロンで説明してはどうか。

・回答

出前講座等グループに対しての説明会は引き続き構成市町において取り組んでまいります。

・質問

人口が減っているにも関わらずごみの量が増えているのはなぜか。目標としている1人当たりのごみの量を元に、目標値を設定してはどうか。

・回答

令和12年度の人口は構成市町の推計値で、ごみの量は近年の数値を元に推計値を出しているためです。ごみの量は微増傾向が続いていることから、令和12年度のごみの量はその傾向を元に目標値を記載しています。

・質問

K E Sとは何か。

・回答

K E Sは環境マネジメントの日本規格の認証制度です。I S O 1 4 0 0 1を元に事務所では認定受けています。タクマは会社でI S O 1 4 0 0 1の認証を受けております。

・質問

会社ではなく事業所で認証の申請を行う必要があるのでは。

・回答

タクマに確認します。

・質問

運営会社の監査は行うのか。

・回答

月1回は運営状況を確認する会議を実施し、年間の運営状況も確認を行います。

4 その他

(1) 新しいごみ袋のデザインについて

4月から販売開始となる新しいごみ袋の説明を行った。

(2) 見学会について

4月3日、4日の午前9時から午後4時まで、エコクリーンセンター南越の見学会を行う旨説明を行った。

5 閉会